



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

救急から在宅まで — 限らないQOLを求めて —



人生の充実
Quality of Life



2020

「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」
— 限らないQOLを求めて —

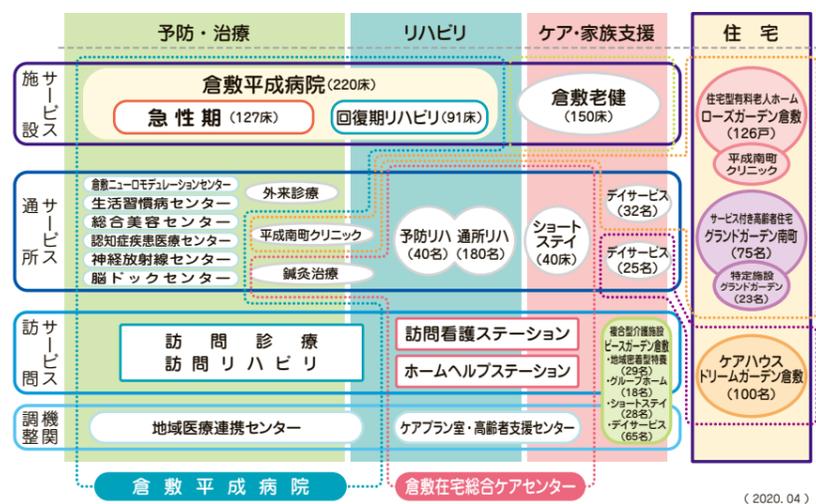
全仁会の
ビジョン

- 臨床・教育・研究の分野で患者本位の国際的水準の病院を目指します
- 急性期から在宅医療まで質の高い効率的な継続的医療を目指します
- 生活習慣病予防を基礎に予防医学を確立します
- 患者本位四原則のもとに質の高いチーム医療を目指します
- 患者さまの安全に配慮し、尊厳を尊重し、患者本位の原則を守り、患者さまに選ばれる病院を目指します

患者本位
4原則

- 患者さまのニーズを第一に最短でよくなる**正しい目標**を設定し、全人的に対応し、科学的根拠のある医療を行う
- 治療効果を上げるため、**正しい配置**につき、統合された質の高いチーム医療による患者本位の最善の医療を追求する
- 共に学び合う仲間を作り切磋琢磨し、全仁会医療人として個々のレベルを向上させ、**正しい機能**を発揮する
- 日々研鑽を惜みず、わかりやすい、やさしい医療サービスを提供し、患者さまから**正しい評価**を受ける

トータル
ヘルスケア



倉敷平成病院は、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理念の下、1988年脳神経疾患専門病院として開院いたしました。脳神経疾患に関連し、予防医学の面で脳ドックを開発。2009年に県西部初となる「3.0テスラMR」を導入し現在2台体制で運用、脳神経外科専門医、神経内科専門医、麻酔科常勤医がチームで脳卒中の急性期治療にあたっています。リハビリテーションの重要性にも早くから着目し、急性期・回復期・維持期、各ステージでのリハビリテーションの充実に努めてまいりました。

1993年に予防医療に特化した「平成脳ドックセンター」を、2002年に生活習慣病の予防から治療を一貫して行う「倉敷生活習慣病センター」を、2004年には美容外科・形成外科・婦人科・

乳腺外科を診療科とする「総合美容センター」を開発しております。また2012年には岡山県より「認知症疾患医療センター」の指定を受け、認知症の基幹病院として機能するセンター構想を推進しております。

更に、2017年には機能的脳神経外科手術を中心とする「倉敷ニューロモデュレーションセンター」、2018年には「神経放射線センター」を開発し、多職種によるチーム医療で患者さんのQOLへ貢献しております。

また全仁会グループとして、倉敷老健や倉敷在宅総合ケアセンター（訪問看護・訪問介護・通所リハ・ショートステイなどの複合施設）、ケアハウスなどの在宅支援サービスを整備。住宅型有料老人ホーム「ローズガーデン倉敷」に続き、2013年に複合型介護施設「ピースガーデン倉敷」、サービス付き高齢者向け住宅「グランドガーデン南町」を開発。本年4月にはグランドガーデン南町内に、特定施設入居者生活介護「グランドガーデン」を開発し高齢者の安心で住みよい暮らしを支える在宅支援システムの構築に努めております。

このたび、30周年記念事業とし「救急棟増改築」を計画、着工しております。救急棟は本年夏の稼働、その後1年をかけて本棟の改修を予定しています。予想外の困難な事態に見舞われようとも、地域の救急医療の充実に一層貢献してまいり所存であります。今後も、職員一同、地域の医療機関と連携しながら、患者本位の医療・介護サービスの提供に努めてまいります。

2020年6月吉日

社会医療法人 全仁会 理事長 高尾 聡一郎



急性期医療

救急から在宅まで、専門の医療チームが「わかりやすい、やさしい医療」を提供しています。

脳神経疾患の専門病院として誕生した倉敷平成病院。2009年に県西部初となる「3.0テスラMR」を導入していましたが、2016年より2台体制となっています。脳卒中を代表する脳神経疾患には脳神経外科、脳神経内科をはじめ関連するチームが24時間体制で対応を行っています。患者さんと私たちの信頼関係を大切に「わかりやすい、やさしい医療」を提供いたします。



脳神経外科手術



整形外科手術

診療科目

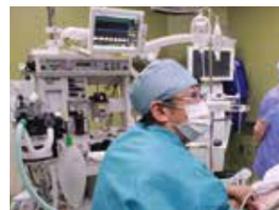
- 内科
- 脳神経内科
- 脳神経外科
- 脳卒中内科
- 整形外科
- 消化器科
- 循環器科
- 呼吸器科
- 耳鼻咽喉科
- 形成外科
- 皮膚科
- 眼科
- 総合診療科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 和漢診療科
- 歯科
- 糖尿病・代謝内科 [倉敷生活習慣病センター]
- 美容外科 [総合美容センター]
- 形成外科 [総合美容センター]
- 婦人科 [総合美容センター]
- 乳腺外科 [総合美容センター]
- もの忘れ外来 [認知症疾患医療センター]
- 脳神経外科 [倉敷ニューロモデュレーションセンター]



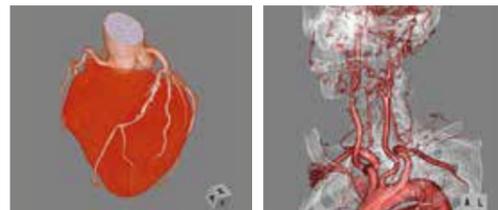
血管撮影装置



マルチスライスCT



麻酔科医



冠動脈CT

頭頸部CTアンギオ



脳神経内科



内科



循環器科



眼科



整形外科



形成外科



耳鼻咽喉科



歯科



スポーツ外来 [整形外科]

スポーツ外傷（骨折・脱臼・靭帯損傷）や、スポーツ障害（野球肩・テニス肘）などのトラブルに対し、日本体育協会公認スポーツドクターが正確な診断、最新の知見に基づいた治療をトレーナースタッフと共に実施しています。



t-PA治療 [脳卒中内科]

発症から4.5時間以内の超急性期の脳梗塞には、血栓溶解薬を静脈注射より投与することで、今までの麻痺や失語などの後遺症を軽減できる治療となっています。しかし、合併症として出血を引き起こすことがあり、投与に際して高い専門性が求められます。当院では、脳卒中内科専門医を中心に、脳卒中チームが24時間365日対応しています。



救急体制強化

救急指定病院としての任務を果たすべく、現在新救急室を増築中。最新の医療機器を導入し、当直者・待機医も増員するなど救急医療体制を強化しています。また、岡山大学救急医学科より講師を招き、近隣の消防救急隊、医療機関、職員を対象とした救急勉強会を開催。救急から在宅まで私たちの挑戦は続きます。



大切なのは、
患者さん・ご家族の希望に沿えること。
つまり「患者中心の医療」。
それぞれのQOLを大切にした診療を
モットーにしています。



倉敷平成病院 副院長
脳神経外科・救急部長
篠山 英道

Sasayama Hidemichi

脳神経外科領域は、脳出血、動脈瘤破裂など緊急性を要する事態に直面することが多々あります。当院では、脳神経外科と脳神経内科・脳卒中内科がチームを組んで脳卒中の急性期治療に当たっており緊張感を持って日々送っています。また、脳梗塞超急性期のt-PA治療も24時間対応の態勢をとっています。

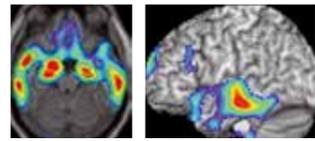
センター構想

さまざまな角度からあなたの健康をサポート。

認知症でお困りの方をトータルにサポート

認知症疾患医療センター [倉敷平成病院1階] 科目 もの忘れ外来・脳神経内科 指定●2012年3月

「認知症疾患医療センター」は、認知症患者さんとその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県に指定された専門医療機関です。認知症疾患の鑑別診断、医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談受付等を行っています。



VSRADの脳表示 倉敷平成病院では認知症の診断と治療において「もの忘れ外来」をいち早く開設。「早期アルツハイマー型認知症診断支援システム【VSRAD（フィエスラド）】を導入し、認知症の画像診断に役立てています。



涌谷センター長の診察



精神保健福祉士の相談



心理検査

神経の最新治療で未来に希望を

倉敷ニューロモデュレーションセンター [倉敷平成病院1階] 科目 脳神経外科 開設●2017年4月

●日本定位・機能神経外科学会技術認定施設

異常をきたした中枢および末梢の神経機能に対して、微弱な電気刺激を行い、調整・制御することで疾患や障害の改善を図ります。

不随意運動やパーキンソン病による震えに対しては脳深部刺激療法（DBS）を、また、痛みに対しては脊髄刺激療法（SCS）を実施。機能的定位脳手術技術認定医を中心としたチーム医療で対応します。



外来診察



リハビリ



DBSの手術

世界最高水準の画像診断を提供

神経放射線センター [倉敷平成病院1階] 科目 放射線科 開設●2018年4月

脳および脊髄の疾患を対象として画像診断を担当します。当院に設置されている2台の3.0テスラMRIを中心に、世界最高水準の画像診断を提供すべく、適宜、機器を最新の機能にバージョンアップすると共に、経験豊富な神経放射線診断医が画像診断に取り組んでいます。



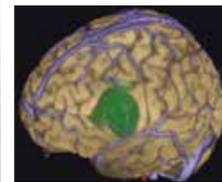
3.0テスラMRI



小川センター長による画像診断



脳腫瘍のMRI (1)



脳腫瘍のMRI (2)

生活習慣病（糖尿病）の予防から治療まで

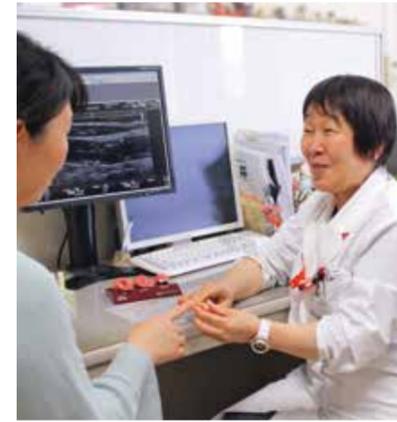
倉敷生活習慣病センター [倉敷平成病院2階] 科目 糖尿病 代謝内科 開設●2002年6月

予防から治療まで
専門医、専門職が
チーム医療で対応。

日本人に多い高血圧、糖尿病、動脈硬化による心臓病や脳卒中、そしてガンなどの「生活習慣病」。これらの病気は食生活、運動、休養、喫煙、アルコール、ストレスなど日ごろのライフスタイルと深い関わりがあります。その予防と、徹底した治療を当センターが担います。



糖尿病教室 [講義]



青山診療部長の診察



栄養指導



動脈硬化検診

美と健康のトータルサポート

総合美容センター [倉敷平成病院1階] 科目 美容外科 形成外科 婦人科 乳腺外科 開設●2004年6月

医療技術で美と健康を追求。

総合美容センターは最新の機器と技術で、より美しく健康的な新しいあなたとの出会いをプロデュースします。カウンセリングを重視した診療で、各科の専門医がトータルに健やかな美しさを追求するお手伝いをいたします。



美容外科診察



美容外科手術



婦人科診察



マンモグラフィ (乳腺外科)

脳の健康へ扉を開く

平成脳ドックセンター [倉敷平成病院4階] 開設●1993年10月

●協会けんぽ生活習慣病予防健診指定医療機関 ●日本脳ドック学会認定施設 ●日本病院協会施設会員

医師や看護師による健康指導に力を入れています。

当院では、皆様が健康で満足のいく生活を送ることができるよう、病気の予防と早期発見に日々取り組んでいます。また、各種オプション検査を取り揃えていますので、皆様のニーズに合わせてご活用ください。



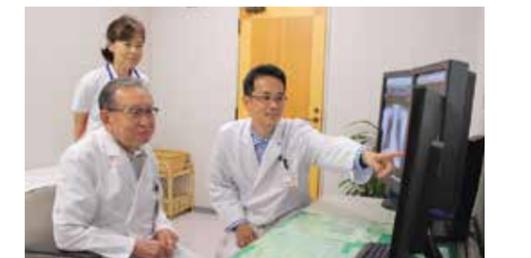
アトリウム



3.0テスラMRI



頭部MRA断層写真
未破裂脳動脈瘤、
血管閉塞、
動脈狭窄などを
発見できます。



ドック医師カンファレンス

看護

ひとりの笑顔がみんなの笑顔に。
明るく充実した環境の中で真心のこもった看護をいたします。

専門職としての誇りを持って、自己研鑽の努力は惜しまない一。

医療人としての自分を高め、信頼される看護師、介護福祉士をめざします。

「7:1看護」を実施し、救急から在宅まで、より充実した生き方をご支援しています。

基本方針

- 安全のために根拠に基づいた看護を提供します。
- 安心のために看護倫理に基づいた看護を提供します。
- 連携を図り、継続した看護を提供します。
- 専門職業人として自己研鑽に努めます。

看護部目標

『信頼に基づく、思いやりのある看護の実践』

専門的な知識と、安全・安楽な看護技術で、
心のこもった思いやりのある看護を
責任もって提供していきます。



手術前カンファレンス



フットケア処置外来

フットケア処置外来では、糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士、フットケア指導士が足の状態をチェックし、日頃の足のお手入れ方法の説明や胼胝、鶏眼、爪が切れない方への爪のケアなどを行い、足病変から足を守るためのサポートをしています。

足病変を予防するためには、普段から足に関心を持ち手入れすることがとても大切です。少しでも、みなさんの足を守るお手伝いができたらと思っています。

一緒に大切な足を守っていきましょう。



手術申し送り



BLS研修（一次救命処置（Basic Life Support））

病院の中では、患者・来院者の急変や意識消失などの緊急事態が起こります。その時病院職員の誰もが、速やかに統一したレベルで一時救命処置ができるよう、看護師が全職員を対象に研修を行っています。指導するのは、公認BLSヘルスケアプロバイダコースを受講した看護師です。



手術



病棟



回復期リハビリ病棟



訪問看護



救急



診察

充実した職場環境が
スキルアップを
応援してくれます。



Iwasaki Kiyomi

2013年に半年間の研修を終え、糖尿病の認定看護師となりました。当院は、勤務調整や費用の面でも認定看護師への支援制度が充実しているので、自分の意欲があればスキルアップできる環境が整っています。現在外来2階の生活習慣病センターで専門的知識を提供しながらインスリン自己注射、フットケア、透析予防などの療養支援を主に行っています。今後も糖尿病チームの一員として取り組んでいきたいと思っています。

ニーズを踏まえた
寄り添う看護を学び、
実践に努めます。



Nakamura Nagisa

入職して2年が経過しました。当初は日々の業務に精一杯でしたが、先輩方より熱心にご指導を受け、徐々に慣れることができました。私は「入院から退院まで患者さんに寄り添える看護をしたい」と思い看護師になりました。3年目となった今、「入院から退院まで」ではなく、退院後の生活を見通し、患者さん・ご家族のニーズを踏まえた介入を意識するようになりました。当院の「救急から在宅まで何時いかなるときでも対応します」という理念のもと、「患者さんに寄り添う看護」について考え、学び、実践できるよう努めていきます。

リハビリテーション

患者さん自身の「納得ゆく人生」の実現をめざし、包括的なリハビリテーション体制を拡充しています。

リハビリテーションは、救命医療と連携しながら、身体機能の回復訓練だけでなく、患者さん一人ひとりが納得ゆく生き方や、よい生き方ができるように支援しようという技術・思想体系。

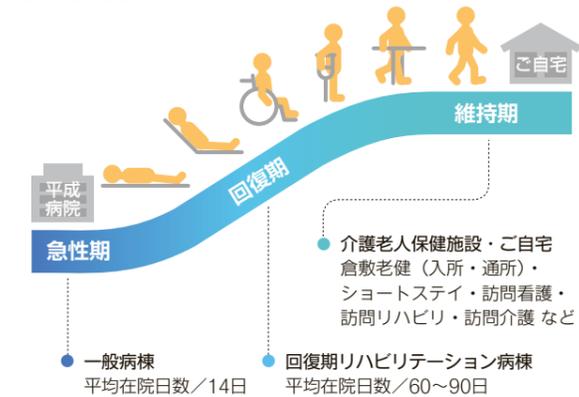
倉敷平成病院ではリハビリテーション科専門医が常勤2名体制で「回復期リハビリテーション病棟（91床）」を運営。この病棟は2012年4月より「回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕」を取得。急性期、回復期、維持期と、すべてのステージで専門スタッフがチームアプローチを実践し効果をあげています。



広いフロアの
リハビリテーションセンター
(505㎡)

倉敷平成病院リハビリテーションセンターでは救急から在宅まで一貫したリハビリテーションを提供し、患者さんを中心とした最善の医療を目指しています。

入院された患者さんに、急性期から回復期までを通じて一貫したリハビリテーションを実施し、機能向上、寝たきり予防を図り、多職種の強力なチームアプローチを実践し、患者さんの機能向上と1日も早い退院を目指してサポートしています。退院後は、外来診療・リハビリテーション、介護保険での通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションを展開し、さらに、関連施設との連携により患者さん、ご家族の生活を包括的に支援します。



歩行訓練【理学療法士】



作業療法



理学療法



リハビリテーション科専門医による診察



言語聴覚療法



心理療法

全仁会のリハビリスタッフ

PT【理学療法士】	65人
OT【作業療法士】	47人
ST【言語聴覚士】	19人
CP【臨床心理士】	7人

(2020年4月現在) 合計 138人



回復期リハビリテーション病棟 (91床・365日実施)

回復期リハビリテーション病棟は、急性期での治療を終えられた患者さんにリハビリテーションを中心とした治療を行い、1日も早く良くなっていただくことを目的とした病棟です。2012年より、回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕の施設基準を取得。県下でも最大規模を誇っています。



VF (Video Fluoroscopy)

えんげ 嚥下障害への取り組み

リハビリテーション医、耳鼻咽喉科医、言語聴覚士 (ST)、放射線技師、看護師などが連携してVF (Video Fluoroscopy) やVE (Video Endoscopy) など、より質の高い、嚥下機能評価を実施。各科の枠を超えたチームアプローチで積極的に取り組んでいます。



訪問リハビリテーション

2008年4月に開設された「訪問リハビリテーション」は、回復期リハビリ病棟などを退院された患者さんのご自宅に、理学療法士や作業療法士・言語聴覚士が訪問し、目標を持って在宅環境での動作訓練やご家族への介護指導、環境整備などを行います。退院直後の在宅生活を支援するサービスは安心感につながります。



急性期リハビリ



整形外科医によるリハビリ勉強会

救急から在宅まで継続的な
リハビリテーションを実施。

倉敷平成病院
理学療法士 副主任
妹尾 祐太

Senoo Yuta

全仁会グループでは、様々な疾患を持つ方々を対象に、急性期から維持期まで継ぎ目のないリハビリテーションを提供しています。スタッフのチームワークも良く、連携のとれたチームアプローチにつながっていると感じています。

私個人としては、個々のニーズに対して結果の出せる理学療法士を目指して、日々の臨床業務に臨んでいます。勉強会や臨床研究なども積極的に行っており、理学療法士として成長できる職場環境だと実感しています。

チーム医療

多職種の連携で、最善のチーム医療を提供します。

当院では医師と看護師、セラピスト、放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士などの他の医療スタッフ（コメディカル）が互いの専門性を尊重し、最大限の能力を引き出し合うことによって、最善の治療を行うチーム医療を実施しています。

放射線部

当院は、脳卒中、脳神経疾患に対する専門病院としての色合いが強く、その診断に際して、CT・MRI・脳血管撮影などの画像検査は欠かせません。私たちはこの画像検査全般を専門に行っている部門です。

放射線部では、放射線科医師が常勤し、脳神経疾患に限らず、他の診療科の医師とも緊密な連携を保ち、それぞれの診療科から依頼される画像検査を迅速かつ正確に行っています。



マルチスライスX線CT検査

臨床検査部

臨床検査は病気の診断、治療、また早期発見や予防に不可欠です。

患者さんの体に現れる様々な病気のサインを検査を通して把握し、病気の原因の追求を行うことが臨床検査の重要な役割となります。

患者さんから採取した血液や尿、便、細胞などを調べる「検体検査」と、心電図や脳波など患者さんを直接調べる「生理機能検査」を行っています。



超音波検査

薬剤部

薬剤部では、調剤、注射準備、医薬品管理、医薬品情報管理だけでなく、病棟薬剤師業務や薬剤管理指導業務を通して、入院患者さんの薬物治療に積極的に関わっています。外来患者さんのお薬は院外処方となっています。

また、他職種との連携を推進し、感染制御チーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、認知症・せん妄サポートチーム、糖尿病療養指導チームなどのチーム医療において、NST専門療法士や糖尿病療養指導士などの資格を活かし、チーム医療の一員として安心・安全な医療の提供に努めています。



医師・看護師とのディスカッション

栄養科

入院患者さんにおいしく、満足していただける食事を提供できるよう、各疾病に対応した治療食などの献立作成、食事の提供を行っています。

また、食事療法の必要な方への栄養指導、糖尿病料理教室など、患者さんに関わる機会も多くあります。NST活動では多職種で協力しながら低栄養の患者さんの栄養状態改善、早期退院、QOLの向上を目標に日々努力しています。

随時、栄養相談を受け付けておりますので、お気軽にお尋ねください。



糖尿病料理教室

臨床工学課

臨床工学課は院内にある医療機器の管理、点検、修理を行っています。さらに、医師の指示のもと医療機器の操作を行います。院内スタッフ向けの医療機器勉強会の講師や医療機器に関する情報を提供しています。2017年4月より開設された倉敷ニューロモデュレーションセンターでは刺激調整や患者さんへ医療機器の説明を行っています。チームの一員として安心な医療を提供できるよう日々努力しています。



臨床工学技士

医療秘書課

医師が医師本来の診療に専念できるよう、医師を補佐する部署です。

医師の仕事を総合的に把握し、気配り、心配りを意識し細かい部分まで行き届いたサポートを行っています。外来診療補助、各種文書代行作成、病棟ラウンドでの診療録への代行入力等が主な業務です。医師と他部署をつなぐ役割を担っており、チーム医療に貢献しています。



医師の指導で代行業務

地域医療連携センター

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）と事務員を配置し、地域の医療機関・介護施設などからの受診依頼・予約・転院相談や情報提供依頼など、地域からの問い合わせの窓口としての役割を担っております。

各種地域の連携協議会や連携の会などへ参加し、地域との「顔の見える関係作り」に努めています。

また、入院中・外来を問わず病気や怪我での療養生活に伴い発生する問題や心配事に対して相談に応じ、解決に向けてお手伝いしています。

地域との連携の橋渡し役として患者さんがスムーズに診療を受けていただき、療養中・療養後も安心して生活できるようにサポートしています。

いつでも相談しやすい雰囲気作りを心がけ、刻々と変わる医療情勢などにも対応できるよう日々自己研鑽に努め、相談員全体のスキルアップが図れるよう努力しています。



地域連携業務



医療相談

私たち専門職が
患者さん中心のチーム医療を
実践します。



Ono Eiko

倉敷平成病院
管理栄養士主任
NST専門療法士
糖尿病療養指導士
骨粗鬆症マネージャー
認定褥瘡管理栄養士
小野 詠子

管理栄養士は、入院患者さんの栄養管理や食事の献立作成、栄養指導（外来・入院）等が主な仕事です。NST回診や糖尿病教育入院など多職種がそれぞれの専門性を生かし、協力してチーム医療に取り組んでいます。様々な資格をとるための勉強会や研修参加へのバックアップ体制も整っており、恵まれた職場環境に感謝しています。



外来受付

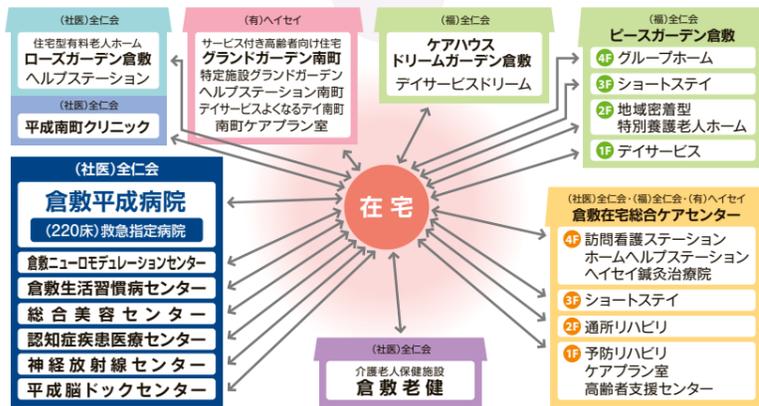
ケア・在宅支援

家庭復帰をめざすケアとリハビリ。 そして24時間365日の在宅支援サービス。

倉敷老健は、病院と在宅との中間施設として、社会・家庭復帰、自立のお手伝いをしています。

倉敷在宅総合ケアセンターは、通所サービス（予防リハビリ・通所リハビリ）、訪問サービス（訪問看護ステーション・ホームヘルプステーション）、ショートステイ、ケアプラン室など全ての在宅支援サービスを統合した、県内初の医療法人と社会福祉法人の複合施設です。

● 全仁会在宅支援システム



医学的管理・看護・介護・リハビリにより、社会・家庭復帰、自立をお手伝い

介護老人保健施設 **倉敷老健** 定員 入所/150名

開設 ● 1988年12月



大浜施設長診察



歩行訓練



秋祭り



脳活性プログラム

倉敷老健5つの理念

- **包括的ケアサービス施設**
倉敷老健は、倉敷平成病院と連携し、入所者が障害を持つ高齢者であることを十分考え、適時に素早く必要な医療を提供します。
- **リハビリテーション施設**
体力や基本動作能力の獲得、家庭環境の調整など、生活機能向上を目的に、専門職が集中的な維持期リハビリテーションを行います。
- **利用者の家庭復帰をめざす施設**
入所者がその能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、日常生活上のお世話をを行い、在宅生活への復帰を目指します。
- **在宅ケアを支援する施設**
入所者の意志及び人格を尊重し、入所者の立場に立って1日でも長く在宅で自立した生活が送れるよう、支援を行います。
- **地域に開かれた施設**
地域の高齢者ケアに関する社会資源として住民のニーズに応え、福祉の道を志す学生の教育実習やボランティアの受け入れなどを通じて地域の高齢者ケアの向上に貢献します。

● サービス内容

【入所】お世話を必要とする要介護の方に、医師、その他専門スタッフによる健康チェック、リハビリテーション、日常生活のお世話などを行い、在宅復帰・在宅支援をお手伝いします。

24時間365日の総合在宅支援サービス 倉敷在宅総合ケアセンター

開設 ● 1999年7月

1階 高齢者支援センター

倉敷市老松・中洲高齢者支援センター

- 介護予防を推進します。
- 医療・福祉・介護の総合相談・支援窓口になります。
- 介護予防の推進と各種教室を開催します。
- 申請手続きの受付・代行をします。
- 開所時間/月～土 8:30～17:15 ※日・祝・年末年始は休

ケアプラン室



倉敷在宅総合ケアセンター 居宅介護支援事業所

ケアプランの作成をはじめ、介護に関することなら何でもご相談を承ります。

- 窓口対応時間/8:30～17:15
※日・祝日開所(年末年始のみ休)

予防リハビリ ● 定員/40名



倉敷平成病院 通所リハビリテーション

ご利用の方の状況に応じて、エクササイズや脳トレプログラム、個別の運動指導を組み合わせ提供しています。プログラムを通じて身体機能や脳機能を高め、みなさまが生き生きと充実した生活が行なえるよう支援します。



4階 4階 へいせい鍼灸治療院 日中合作医学研究センター

中国の北京中医药大学出身の専門医による指導のもと、治療を実施。疼痛性疾患、過敏性疾患、原因不明の様々な病気に威力を発揮しています。

2階 通所リハビリ ● 定員/180名



個別リハビリ



マシントレーニング

倉敷老健 通所リハビリテーション

退院後の方や在宅で生活をされている方に対して、個々の状態に応じた専門的なリハビリテーションサービスを提供します。介護予防、疾患や生活障害へのリハビリテーション支援のほか、退院後の短期集中的なリハビリテーションも行っています。

4階 へいせいホームヘルプステーション 医療福祉研究所へいせい



訪問介護サービス

福祉用具貸与・購入サービス
住宅改修



訪問入浴介護サービス

介護タクシー
(通院等乗降介助)

3階 ショートステイ ● 定員/40名



倉敷在宅総合ケアセンター ショートステイ 在宅介護

個別機能訓練を行っています。
ご家族の身体的・精神的負担の軽減に努めます。

4階 へいせい訪問看護ステーション



訪問看護・訪問リハビリ

住宅・在宅支援

住む人が心から人生を楽しむための住まい

住宅型有料老人ホーム **ローズガーデン倉敷** [倉敷市南町] 戸数 126戸 開設●2004年9月

●(公社)全国有料老人ホーム協会正会員



ワンランク上のシニアライフを——
予防・医療・福祉の連携を誇る全仁
会グループの住宅型ホームです。

建物はプライバシーを考慮した安心設計。
毎日生活する所だからこここだわりました。

第9回 倉敷市建築文化賞奨励賞
(住宅部門) 受賞



2011年1月より平成南町クリニックを併設

4つのコンセプト

- ユニバーサルデザインの視点で考えられた住む人に優しい住まい
- ライフステージは憧れの街「倉敷」美観地区すぐ近く
- 自由に、自分らしく生きるために様々なサービスの提供
- QOLを実践する全仁会グループが全面的にサポート



ロビー



誕生会第2部「演奏会」



Aタイプ居室(35㎡) ※Cタイプ居室(70㎡)

平成南町クリニック 説明と納得の医療で地域をサポート

科目 内科 呼吸器科 開設●2011年1月 [ローズガーデン倉敷1階]

平成南町クリニックは、倉敷平成病院との密接な連携をもって診療します。幅広い診療の他、禁煙治療・睡眠時無呼吸症候など総合的診療を行います。キズ・ヤケドの湿潤療法、糖質制限指導も行っています。どなたでも受診していただけます。



玉田院長の診察



クリニック入口

倉敷美観地区至近の南町から始まる新生活

サービス付き高齢者向け住宅 **グランドガーデン南町** [倉敷市南町] 定員 75名(1・2・4・5階) 開設●2013年12月

サービス付き高齢者向け住宅で 安心・快適な生活を過ごしてみませんか。

グランドガーデン南町は、高齢者の方に安心して地域に住み続けていただける賃貸住宅として、居室や設備のバリアフリー構造等のハード面と、安否確認・生活相談などの24時間の見守り体制でのサービスを提供いたします。

全仁会グループの医療・介護と連携し、要介護状態であっても、ご入居の方が安心できる快適な生活をサポートしてまいります。

特定施設入居者生活介護 グランドガーデン

定員 23名 開設●2020年4月 [グランドガーデン南町3階]

2020年4月1日より、グランドガーデン南町の3階部分を【特定施設入居者生活介護(介護付き)】として運営することとなりました。介護保険法に基づいた職員配置で、食事・入浴・排泄など日常生活に関わる身体的介助や機能訓練(リハビリテーション)を行い、ご入居の方々の生活を支えます。



グランドガーデン南町の居室
バリアフリーで安心して生活をおくることができます。



通所介護・南町ケアグラン室・訪問介護

【よくなるデイ南町】・【ヘルプステーション南町】
24時間の見守り体制
看護師が勤務し介護スタッフは24時間常勤、メリハリある在宅生活、筋力・認知機能の維持を目指し、日々のサービスに取り組んでいます。生活状況の確認・緊急通報に対応します。



快適な住空間と生きがい発見の場を提供しています。

心づくしの安心とケア

軽費老人ホーム **ケアハウズドリームガーデン倉敷** [倉敷市八軒屋] 定員 100名 開設●1995年10月

お部屋の居住性の良さはもちろん、 共有スペースが暮らしの豊かさを広げます。

大浴場やホールなどの共有スペースをたっぷり用意し、各居室はプライバシーを守る2ルームでバリアフリー設計。部屋からの緊急コール、全室ベランダ付き、洗練されたくつろぎのスペース。どれをとっても快適なシルバーライフをエンジョイするのにふさわしい住空間です。



玄関ホール



一人部屋(Aタイプ)



夏祭り

心づくしの安心とケア

お誕生日会や四季折々の楽しい行事を計画しています。また周囲の庭園を利用して野菜作り等の園芸も楽しめます。ご自分の家と同様に、自分らしく充実した暮らしが送れるようサポートします。

1階

デイサービス ドリーム キラキラ輝く 人生のお手伝い

多彩なプログラムを通して、生活機能の維持・改善を行い、できる限り自立した生活を送れるよう支援いたします。



寄り添うケアで心おだやかな環境を創造します

複合型介護施設 **ピースガーデン倉敷**

開設●2013年2月

ピースガーデン倉敷は、「特養」「ショートステイ」「グループホーム」「デイサービス」の、一体的な連携運営を目指しています。



1階 リハビリステーション ピース

●定員/65名



2階 地域密着型特養 ピースガーデン

●定員/29名(3ユニット)



3階 ピースガーデン倉敷 ショートステイ

●定員/28名



4階 グループホーム のぞみ

●定員/18名(2ユニット)



トータルヘルスケア

患者さん本位の「わかりやすい、やさしい医療」で チーム医療を実践しています。

限らないQOLを求めて— 全仁会の4本柱



〈1〉のぞみの会

脳卒中の後遺症で悩む患者さんとそのご家族、さらに地域の皆さまと職員との交流の場、意見交換の場として年1~2回開催。疾病・予防に関する勉強会、リハビリ作品展、ふれあい広場などが催されています。2019年は病院の改築に伴い倉敷市民会館で開催しました。



〈2〉神経セミナー

認知症・パーキンソン病・リハビリテーションなど、「神経疾患のより深い理解に立った医療・福祉の提供」を目的として定期的に開催し、2019年に第32回を開催。地域医療関係者、患者家族の方々のコミュニケーション、また勉強の場として地域に根付いています。



〈3〉看護セミナー

看護のあり方・情報提供の場として、院内職員研修はもとより地域の医療機関の意見交換・交流の場となることを目的に、1989年から開催。昨年第29回を開催。最新の医療情勢を含んだ看護の技術や質の向上を目的とし、タイムリーな話題を提供しています。



〈4〉研究発表大会

「患者さんへの医療サービスの向上を図る」「全仁会職員の個々の質的向上とチーム機能の向上を図る」「全仁会の発展に貢献する」「報告・連絡・相談の徹底を図る」を目的として1993年から毎年行われています（2019年で第28回）。優秀演題は日本病院学会などで発表しています。

全仁会 組織図・グループ



社会医療法人全仁会
理事長
脳神経外科
高尾 聡一郎
Takao Souichiro

倉敷平成病院
院長
脳神経内科
高尾 芳樹
Takao Yoshiki

社会医療法人全仁会
名誉理事長
社会福祉法人全仁会
理事長
高尾 武男
Takao Takeo

倉敷平成病院
名誉院長
整形外科
平川 訓己
Hirakawa Kunisugu

倉敷平成病院
副院長
救急部長・脳神経外科
篠山 英道
Sasayama Hidemichi

倉敷平成病院
看護部長
武森 三枝子
Takemori Mieko

倉敷平成病院
事務長
板谷 尚昌
Itadani Takamasa



全仁会グループのあゆみ

- 1988 (S63) 1/11 「高尾病院」開設
- 9/1 MR1号機導入
- 12/1 介護老人保健施設「倉敷老健」開設
- 1989 (H 1) 3/1 「倉敷平成病院」に病院名変更
- 1991 (H 3) 10/1 「在宅介護支援センター」開設
- 1992 (H 4) 10/1 「ハイセイ訪問看護ステーション」開設
- 1993 (H 5) 6/1 MR2号機導入
- 9/1 総合リハビリ施設の許可
- 10/1 「平成脳ドックセンター」開設
- 11/17 日本整形外科学会認定医療施設認定
- 1995 (H 7) 10/1 「ケアハウスドリームガーデン倉敷」開設
- 1996 (H 8) 6/7 第1期ホームヘルパー養成講座開講
- 8/24 日本脳神経外科学会認定医療施設認定
- 9/1 「ハイセイホームヘルプステーション」開設
- 1997 (H 9) 4/1 日本神経学会認定医療施設認定
- 1999 (H11) 7/1 「倉敷在宅総合ケアセンター」開設
- 2000 (H12) 4/1 「ハイセイ鍼灸治療院」開設
- 日本プライマリケア学会認定医研修施設
- 回復期リハビリテーション病棟開設
- 2001 (H13) 5/1 院外処方開始
- 6/1 特殊疾患病棟開設
- 2002 (H14) 1/1 「倉敷生活習慣病センター」開設
- 6/1 開放病床(5床)開設
- 12/1 日本循環器学会認定施設
- 2003 (H15) 4/21 日本病院機能評価 Ver.3 認定
- 5/1 新病棟増築完成
- 2004 (H16) 3/31 臨床研修病院指定
- 4/1 生活習慣病予防健診実施医療機関指定
- 5/1 日本リハビリテーション医学会研修施設認定
- 6/1 「総合美容センター」開設
- 8/1 倉敷老健増床(100床→150床)
- 9/1 住宅型有料老人ホーム「ローズガーデン倉敷」開設
- 2005 (H17) 2/11 日本脳卒中学会研修教育病院認定
- 3/1 亜急性期病棟開設
- 2006 (H18) 4/1 オーダリングシステム導入
- 「地域包括支援センター」開設
- 回復期リハビリ病棟(46床→88床)
- 4/1 7:1看護実施
- 2008 (H20) 4/1 「訪問リハビリステーション」開設
- 2009 (H21) 5/1 日本病院機能評価 Ver.5 認定(更新)
- 6/15 3.0テスラMRI導入
- 2010 (H22) 6/1 「デイサービス ドリーム」開設
- 12/1 「社会医療法人 全仁会」に認定
- 2011 (H23) 1/5 「平成南町クリニック」開設
- 2012 (H24) 3/28 岡山県より「認知症疾患医療センター」に指定
- 2013 (H25) 2/1 複合型介護施設「ピースガーデン倉敷」開設
- 電子カルテシステム導入
- サ高住「グランドガーデン南町」開設
- 2014 (H26) 10/1 病床再編成(一般127床・回復期リハ91床)
- 12/1 グランドガーデン南町内に「よくなるデイ南町」開設
- 2015 (H27) 6/26 総社市と地域医療連携協定締結
- 7/1 「(社福) 全仁会ヘルプステーション」開設
- 11/8 第50回のぞみの会開催
- 2016 (H28) 1/15 日本病院機能評価認定(一般病院2<3rdG:Ver.1.1>)
- 3/1 3.0テスラMRI導入、2台稼働
- 7/29 岡山市民病院と包括連携協定締結
- 10/11 AMDAと連携協力協定締結
- 2017 (H29) 4/1 倉敷ニューロモデュレーションセンター開設
- 2018 (H30) 4/1 神経放射線センター開設
- 2019 (H31) 3/24 病院増改築工事安全祈願祭開催
- 2019 (R 1) 8/10 病院新玄関・新ロビー完成
- 2020 (R 2) 4/1 特定施設入居者生活介護グランドガーデン開設



建設中の倉敷平成病院
1987 (S62)年

倉敷老健の開設披露式典
1988 (S63)年

倉敷在宅総合ケアセンター
1999 (H11)年

倉敷生活習慣病センター
2002 (H14)年

新病棟増築
2003 (H15)年

総合美容センター
2004 (H16)年

ローズガーデン倉敷
2004 (H16)年

倉敷老健新館
2004 (H16)年

30周年記念式典
2018 (H30)年

地域との交流



高尾理事長「救急講義」(倉敷消防局)



くらしきみなみ文化祭(倉敷南小学校)



倉敷 Jr. フィル演奏会



篠山副院長「健康講話」(倉敷南公民館)

2019年度実績

2019年4月から2020年3月まで

平均在院日数	15.3日
救急搬入件数	2,206件/年
外来患者数	583.9人/日
入院患者数	201.2人/日
手術件数(※手術室で実施の件数)	1,227件/年
ドック利用者数	6,069人/年
老健入所人数	146.8人/日
通所リハ利用人数	151.7人/日
ケアセンターショートステイ利用人数	35.5人/日
訪問看護ステーション利用	61.1人/日
ヘルパー件数(老松)	49.2件/日
ヘルパー件数(社福)	42.8件/日
訪問入浴	8.6件/日
介護タクシー	24.7件/日
鍼灸治療院	652.3人/月
住宅型有料老人ホームローズガーデン倉敷	102.3人/日
ケアハウス ドリームガーデン倉敷(100名)	99.8人/日
複合型介護施設 ピースガーデン倉敷	29.0人/日
特養	23.7人/日
ショート	18.0人/日
グループホーム	18.0人/日
デイサービス	48.6人/日
サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町	94.0人/日
ヘルパー件数(南町)	58.9件/日
デイサービス よくなるデイ南町	30.1人/日
ケアプラン件数	887.8件/月
南町ケアプラン件数	140.5件/月

魅力・情報の発信



マスコットキャラクター「ぜっとくん」

全仁会がより親しみを持っていただけるようにロゴマークをモチーフにしたマスコットキャラクター「ぜっとくん」が誕生しました。全仁会の魅力を伝えるため、様々なイベントで活躍中です。



病院広報誌の発行

患者さんや地域の方に向けて、年に4回広報誌を発行。医師紹介、セミナー、催しなどのお知らせ、健康のための料理レシピなどを盛り込み、病院や施設の魅力とともに情報を発信しています。



Facebook・Instagramページ開設

倉敷平成病院のFacebook・Instagramページを開設しています。病院のホットな情報をリアルタイムでご紹介します。

